



開祖・真源画像(大慈恩寺所蔵)

室町時代初頭の暦応4年(1341)、足利尊氏の弟・直義は、この寺を足利幕府の祈願所とし、後醍醐天皇や南北朝の内乱の犠牲者のために福を祈るた



下総町・大栄町

# 一度は訪ねてみたい場所

## 北総屈指の名刹 大慈恩寺

大栄町役場から国道51号を成田方面に約1km戻った右手、モミの大木や杉などが生い茂る森の中に建つ大慈恩寺。大栄町吉岡地区にあり、鎌倉時代末期この地を治めていた豪族大須賀氏(千葉氏の一族)に招かれた真源が開いたと伝えられている真言宗のお寺です。

めんの利生塔を建立しました。この時代、足利氏の手厚い保護を受け北総地域有数の寺院として全盛を誇りました。江戸時代には御朱印寺(徳川家より代々土地を寄進)の格式を与えられ、地方文化の中心として栄えた名刹でした。

### 大慈恩寺の宝物

お寺の沿革や当時の繁栄を物語るかのように、大慈恩寺所有の宝物には多くの貴重な資料が残り、73点が県の指定文化財に指定されています。絹本着色十六羅漢像など絵画19点、下総国利生塔に関する足利幕府文書・足利直義仏舍利寄進状など中世文書50通などで、一つのお寺に足利氏関係の文書がこれだけ残されているのは大変珍しいことです。

また、境内には利生塔礎石群跡塔は明治35年倒壊し礎石のみ残存、梵鐘・板碑群などが往時を偲はせてくれます。



(右)絹本着色十六羅漢像 (左)お寺の由緒が書かれた梵鐘

### 大栄町伊能歌舞伎公演のお知らせ

日時 10月16日(日) 午前11時開演予定 場所 県立房総のむら  
日時 11月20日(日) 午前10時開演予定 場所 大栄町コミュニティプラザホール  
演目 本朝二十四孝、十種香の場、仮名手本忠臣蔵、九段目山科閑居の場、弁天娘

女男目浪、稲瀬川の場  
その他 入館料 一般500円 高・大学生250円 中学生以下・65歳以上無料 ☎9533333 は前売りチケットを販売。販売日時になどくわしくは大栄町生涯学習課 ☎0478-737071へ。

# 楽満寺

下総町中里地区にあり、建暦2年(1212)国一禅師が開いたと伝えられる臨済宗の寺院。如意輪観世音菩薩を本尊とし、安産・子育ての観音様として女性の信仰があつく、大小の絵馬が奉納されています。中でも大きなガラスに描かれた絵馬は珍しいもので、19枚確認されています。また、早稲田大学の創設者・大隈重信の母親が安産お札として奉納した曼荼羅もあります。



楽満寺の山門



本堂に飾られたガラス絵馬と板絵馬

春と秋には観音様の分身を背負って近隣の集落を巡礼する「背負い観音」という行事が行われています。境内は手入れが行き届き、春の新緑、秋の紅葉は見事です。

# 小御門神社

下総町名古屋地区にある、後醍醐天皇に關係した建武中興十五社の一つで、太政大臣藤原師賢公を祀った神社です。社伝によると、師賢は後醍醐天皇の身代わりとなって戦い捕



らえられ、この地に流され生涯を終えました。明治になると彼の遺徳をたたえる機運が起こり、明治12年、天皇から小御門神社の社号を賜りました。本殿を囲む森や杉・ヒノキなどが生い茂る参道は、訪れた人を異次元の世界に誘います。

## 小御門神社に能面を奉納



この4月、ふるさとに近い小御門神社を訪れ、能面を奉納した小倉宗衛さん。日本の能面制作の第一人者です。訪れた理由は全国の神社百社を目標に能面を奉納するため。昭和3年、大室に生まれ画家を志し文化学院美術科に入学。ところが、ある講義で『雪の小面』という能面の話に衝撃を受け、それが能面作家を目指すきっかけに。昭和29年から能面研究。同46年には能面制作を開始し、これまでに制作した面は120種・1千点を超え、日本芸術家協会連合展優秀賞、国際芸術文化賞などを受賞。全国の美術館・百貨店などもより、ニューヨーク・ロンドンなど世界各国で能面展を開催しています。

「成田で暮らしたのは久住第二小学校時代までですが、一度は生まれ故郷の成田で作品展を開きたい」と笑顔で語り、神社を後にしました。



奉納された能面(平成17年4月27日)



小御門神社の森は癒やしの空間